



あなたの力がまちのために  
**地域の安全を守る消防団**

Introducing the fire service that saves the community

## 消防団員を知ろう! Q&A

Q.消防団員ってどんな人?

A.消防団員は、自営業や会社員、学生等さまざまな職業や年齢層の人が、「自分たちのまちは自分たちで守る」という強い思いを持って活動しています。また、災害発生時に、自宅や職場等から出動して活動する地域の人です。

Q.消防職員(消防士)との違いは?

A.消防職員が専任の職員として消防本部や消防署で働いているのに対し、消防団員は普段は他の仕事等をしながら、地域のために活動しています。

Q.どういう人が入団できるの?

A.18歳以上の健康な人で、区内在住・在勤・在学であれば、港区内の消防団へ入団することができます。



## 消防団員募集!



◀特別区消防団

消防団に関心がある人、地域のために活動したい人の入団をお待ちしています。

**申し込み** 電話で、お近くの消防署へ。特別区消防団からも申し込めます。

芝消防署 ☎3431-0119 麻布消防署 ☎3470-0119  
赤坂消防署 ☎3478-0119 高輪消防署 ☎3446-0119

港区では消防団を  
紹介するオリジナル動画を  
公開しています



港区

令和6年3月31日(日)まで、ケーブルテレビ(J:COMチャンネル港・新宿(11ch))、ちばす車内でも放映しています。



# 消防団の活動紹介



## 平常時

### 防火防災指導

初期消火訓練や応急手当等の指導を行います。



## 地域の警戒活動

区内で開催されるお祭りやイベント時に警戒活動を行います。



### 災害活動訓練

災害現場での活動を想定した訓練を行います。



## 災害時 災害活動

区内消防署と連携して、消火活動や人命救助活動を行います。



# 消防団員へのインタビュー

### 赤坂消防団第2分団

ひらつか ゆりな  
団員 平塚 唯里菜さん



#### ■普段は何をされていますか

大学院で心理学を学んでいます。



#### ■消防団に入ったきっかけは何ですか

もともと消防団に入ろうと思っていたというより、地域貢献のために何かボランティアをしたいと思っていました。大学のサークル活動やボランティア活動を通して、赤坂の地域の人たちとの交流が増えていき、赤坂のために何かしたいという気持ちが芽生えました。そのタイミングで赤坂消防団に所属している人と出会い、消防団のことを聞いて、入団を決めました。

#### ■実際に入団してみてイメージと異なることはありましたか

入団する前は体育会系で年配の人が多いのではというイメージでしたが、実際は女性が活躍していたり、若い人もいることを知り、また広報の活動もあったので、体力に自信のない私でも役に立てるところがあるのではないかなと思えたことです。

#### ■普段どのような活動をしていますか

普段は巡回広報といって、春と秋に実施する火災予防運動等で消防車に乗って皆さんに注意喚起のアナウンスをする等の活動を行っています。他にも子どもたちに消火器の使い方等を教えています。

#### ■消防団に入って印象的な出来事は何ですか

地域の保育園で防災訓練を行った際に、園児が「消防の番号知ってるよ」、「火事ときは、大声でみんなに知らせるのが大切なんだよね」等と言ってくれたことが、自分たちがやってきた広報活動が子どもたちにもきちんと届いてくれていると思えたのですごく印象に残っています。

### 芝消防団第5分団

めんじゅ しげはる  
分団長 毛受 重治さん



#### ■普段は何の仕事をしていますか

家具等のインテリアの販売をしています。

#### ■消防団に入って何年経ちますか

約50年です。またラッパ隊として20年活動しており、ラッパ隊の副隊長を務めています。

#### ■消防団のラッパ隊とはどのような活動をしているのですか

消防団のさまざまな年間行事で、ラッパ吹奏をしています。また、毎年1月15日の「Tokyo消防団の日」には、新橋駅や浜松町駅等でも吹奏することがあります。



#### ■消防団そしてラッパ隊に入ったきっかけは何ですか

地域の人からのお誘いがあり、入団しました。また、ラッパ隊は、20年前の当時、町会でラッパを購入したことがきっかけで始めました。ピアノやギターは弾いていたのですが、ラッパは消防団に入ってから始めました。

#### ■ラッパ隊に入ってよかったことは何ですか

他の分団の隊員もいるため、分団の垣根を越えて情報交換ができ、幅広くコミュニケーションを取ることができることです。

#### ■50年間活動されてきて印象に残っている出来事は何ですか

古川の地下調節池ができる前、毎年台風等で川が氾濫して周辺の家が浸水してしまい、そのたびに出動していたことです。土のうを積んだりするのですが、それだけでは対応できず、ポンプ車で水を戻したりもしていました。また、地域の皆さんが安全に避難できるように避難誘導も行っていました。

この広報紙は、誰にでも読みやすく、伝わりやすいフォント(ユニバーサルデザインフォント)を使用しています。